

巻頭言



くらしを快適にする鋼板特集の 発刊にあたって

今居 武士*

今回、このタイミングで“くらしを快適にする鋼板特集”を発刊出来た事を大変うれしく思います。2年前にコロナが出現して以降、私たちの生活は大きな変化を強いられました。未知のウイルスに対する不安を抱えながら、密を回避し、外出を控えざるをえず、コミュニケーションも取りづらくなり、生活様式や仕事の形態は一変してしまいました。このような急激な変化に直ぐに順応出来た人はあまり多くなかったのではないのでしょうか。世の中に少しでも安心を与えたい、社会のために出来る事をやりたい、こうした思いから急ぎ開発・商品化したのが抗ウイルス鋼板でした。快適さを取り戻す事は世の中の願いであり、私たちは鉄鋼メーカーとしてやれる事、しなければならない事をしっかりとやっていきます。

将来のためにやらなければならない大切な事がもう一つあります。それは環境対策であり、環境変化に対する耐力をつける事です。自然災害の増加やその甚大さ、気候の変化、これらに対する備えを今しなければなりません。日本製鉄(株)は、人類の存続に影響を与える重要課題である気候変動問題に対する独自の取り組みとして“カーボンニュートラルビジョン 2050”を掲げました。鉄鋼生産で排出するCO₂の削減取り組みは勿論ですが、単位量当りのCO₂排出量が少なく、環境に優しい素材である鉄の使い方を工夫し、使用を拡大する事でも貢献しなければならないと考えています。そういった意味でも今回の特集により鉄をご使用頂く皆様に広く我々のソリューションをご紹介させて頂き、一緒に未来のための物づくりをさせて頂ければ本望です。

私たちの周りには、家電製品・容器・自動車・建築物・構造物など鉄で造られたものが溢れていますが、これらはどれも私たちのくらしになくてはならないものばかりです。社会の高度化や生活様式の多様化により、お客様における課題はより一層難しいものとなり、我々への要求も厳しくなっていますが、これらの一つ一つに丁寧にお応えするのに加え、“鉄を極める”ためのご提案を続けていきたいと考えています。鉄の強度や加工性を極め、表面処理で寿命を極限まで延ばし、美しい外観で工程を省いていく、最終製品までのライフサイクルを考え、サプライチェーン全体で環境負荷を最適にする、そのような鉄商品を開発していきます。鉄の魅力を最大限に引き出すための構造や工法も併せてご提案させて頂き、お客様の課題と一緒に取り組みます。

今回、“くらしを快適にする鋼板特集”では特徴ある薄板製品やソリューション技術を具体的に取り上げました。どれも自信を持ってご紹介させて頂けるものと思っております。これからも皆様のご期待に沿えるよう、商品力・技術力をさらに高めていく所存でございます。より一層のご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

* 執行役員 薄板事業部 薄板技術部長 (現所属：常務執行役員 瀬戸内製鉄所長)

(原稿受領日：2022年1月31日)